

施策評価シート（評価対象年度：令和元年度）

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	1 平和施策の推進	② 施策番号	4401
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	1 市民すべてが平和を希求するとともに、互いの存在を尊重し信頼しあい、いかなる差別もなく、一人ひとりが大切にされる人権文化のまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	2 恒久平和の実現		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
健康福祉部	生活福祉課		

2. 施策の現状把握

〔1〕施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	泉南市民全体
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	核兵器廃絶を望み、世界平和の大切さを訴える。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	終戦から長い年月が経過し、直接戦争を体験し記憶している世代が極めて少なくなっている。いかにして、戦争の悲惨さを風化させることなく、平和の大切さを次世代へ継承していくことが求められている。

〔2〕施策指標及び推移

施策指標(成果指標)		単位	指標とした理由・考え方
①	泉南市戦没者追悼式への参加者数	人	市民の方の非核平和への関心度
	計算式		
②			
	計算式		
③			
	計算式		

	指標名	単位		H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	備考
①	泉南市戦没者追悼式への参加者数	人	目標値	—	—	—	274	274	
			実績値	255	274	278	—	—	
			達成率						
②			目標値						
			実績値						
			達成率						
③			目標値						
			実績値						
			達成率						

〔3〕施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標					総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化
		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2見込	H30実績	R1実績	R2見込	総合評価	今後の方向性	
1	戦没者遺族等援護事業	弔慰金等処理件数	件	0	0	0	3,397	3,806	3,840	A	ア	◎
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	1						3,397	3,806	3,840			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	恒久平和、核廃絶については、若い世代への啓発が重要であり、その伝承者としての方々の育成につながり、生命や平和の大切さを認識されるように努める。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	泉南市戦没者追悼式への参加は役員の方が多く、一般参加者の方は少数にとどまっている。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	本事業の各団体については、長年泉南市において恒久平和、核廃絶、及び先の戦争で戦死された方々への追悼式を通して慰霊の念を重ねてきている団体であり、泉南市にとっての恒久平和、核廃絶の考え方を実現している重要な団体である。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	各団体においては、行政との役割分担を十分に認識したうえで自発的な活動を行っている。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	先の大戦の経験者の高齢化のため、年々減少している中で戦争の悲惨さを伝承する為にもこの方々の育成が重要である。

4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	平和に関する普及啓発活動については、これらを尊重する意識を醸成し、また、その希薄化を防ぐために達成率は、継続的な取組を行うことが重要であり、事業の内容を工夫しながら引き続き市民の意識啓発を行っていく必要があります。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	泉南市の広報媒体である公式ホームページ、広報紙への掲載について市民の方々の目に留まるような工夫をおこなう。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	泉南市戦没者追悼式への参加は役員の方が多く、一般参加者の方は少数にとどまっているため、戦没者追悼式の開催の方法等について遺族会と慎重に協議を行っていく。
中長期的対応 (3～5年をめどに取り組む改善案)	—

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	戦没者追悼式の開催による平和施策の推進に向けた取組が適切に行われている。 平和意識の向上や体験の継承が市民に広がるよう、今後の取組や展開については関係者との検討を進められたい。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある